

第十回シンポジウムの開催にあたって

中国第一歴史檔案館館長 胡 旺 林

尊敬する国家檔案局副局長・中央檔案館副館長 楊繼波先生

尊敬する日本沖繩県教育委員会教育長 大城浩先生

尊敬する来賓、専門家、研究者の皆様

ご来場の皆様

こんにちは。

北京は黄金の秋を迎え、絢爛たる紅葉に山の木々もすっかり色づきました。この爽やかで気持ちの良い季節に私たちは第十回琉球・中国交渉史に関するシンポジウムを迎えることになりました。ここで、今回の主催者側、中国第一歴史檔案館の全職員を代表し、謹んでシンポジウムの開催をお祝い申し上げます。ご参加の専門家・研究者の皆様にご心より歓迎の意を表したいと思います。

指折り数えてみますと、私たちと沖縄の友人の皆様との学術協力はすでに二〇年の年月を経ております。一九九一年、中国第一歴史檔案館と沖縄県教育委員会が交わした「中琉歴史関係学術交流に関する覚書」によって、双方の協力の道が開かれました。それ以来、私たちは定期的な友好交流を維持し、様々な形式の学術交流活動を展開してきました。一九九一年にこの覚書を交わして以降、一九九六年、一九九八年、二〇〇三年、二〇〇九年と引き続き協議書を締結してきました。この二〇年間、沖縄県教育委員会の招聘により、中国第一歴史檔案館は毎年沖縄に研究者を派遣し、訪問交流を行ってきました。二〇一〇年十一月、私は数名の同僚とともに招聘により沖縄を訪問し、沖縄県教育委員会の心のこもったおもてなしを受け、相互協力を深めるための広範な話し合いを行ったことを今でも鮮明に覚えております。現在までに、私たちはシンポジウムを隔年で交互に主催しており、今回を入れて十回の開催となります。このように定期的に行われる学術交流活動は、私たちが友好の架け橋を築く上で、中琉歴史研究を切磋する学術的なプラットフォームを提供し、そのために、私たちは協力して努力と才知を傾けてきました。

二〇年来の、中国第一歴史檔案館と沖縄県教育委員会の相互協力はすでに豊かな成果を生み出しています。今まで、中琉歴史関係檔案系列の図書である「選編」や「続編」などの八冊の編纂、『中琉歴史関係檔案』叢編二一冊の出版など、公開された清代中琉関係檔案史料は累計で三二〇〇件余りとなっています。学術研究面では、すでに出版された中琉歴史関係シンポジウムの論文集は九冊、発表された論

文は六六編に上ります。お互いが訪問交流のために派遣した研究者はのべ百人余りになります。双方はさらに密接に協力し合い、沖縄県公文書館は、一九九五年と二〇〇〇年の二度にわたり「清代琉球国王表奏文書展」を開催し成功させました。

沖縄側でも、現存する貴重な文献資料『歴代宝案』の校訂・出版を行ってきました。こうした一連の中琉歴史関係檔案資料の整理と活用は、中琉歴史研究に対して手堅い土台を築き、中琉歴史関係の研究領域を大幅に切り開きました。さらに、この歴史問題に関する学術研究は、中日両国双方の社会において各界の専門家の関心、支持、そして参加を得ることで、中琉歴史関係研究の舞台はますます拡大し、道もさらに広がっていきました。

皆様、本日開催されます第十回シンポジウムは、「明清檔案と中琉歴史関係」というテーマのもと、共同して中国第一歴史檔案館と沖縄県教育委員会との過去二〇年間の協力の成果を回顧・総括し、ともに中琉歴史関係研究上のより深いレベルでの協力の可能性を模索します。今回のシンポジウムでは、中日双方から四名の専門家が学術報告を行います。これらの専門研究は、それぞれ異なる側面から、中琉檔案史料の整理と中琉歴史研究とが、双方相まってよりよい効果を収める密接な関係にあることを明らかにし、また異なる角度から中琉歴史関係の中より深い問題について解明してくれることを、私たちは専門家の素晴らしい学術報告に期待しております。

最後に、シンポジウムの成功、そして専門家、研究者の皆様のますますのご発展とご健康を心より祈

念いたしまして、私のあいさつといたします。

二〇二二年十月二十九日

(翻訳
帆刈浩之)

第十回シンポジウムの開催によせて

中央檔案館国家檔案局副館局長

楊 繼 波

尊敬する大城浩教育長

尊敬する胡旺林館長

ご参加の皆様

国家檔案局を代表し、楊冬権館局長に代わり、第十回シンポジウムの開催をお祝い申し上げます。同時に会議が円満に成功されますことをお祈りいたします。

国家檔案局は今回の第十回シンポジウムを大変重視するとともに、大いに支持いたしております。本日、楊冬権館局長は出張のため、私が代理としてお祝いの言葉を述べさせていただきます。中琉歴史関係のシンポジウムはすでに二〇年余りの歴史があり、数々の満足すべき成果を生み出してきました。本シンポジウムが今後とも、ますます発展することを希望いたします。

私はかつて、中国第一歴史檔案館副館長として、沖縄で開催された第五回シンポジウムに参加したことがあり、当時の教育長から熱烈な歓迎を受けた事は今でも忘れられません。沖縄は私たちに深い印象を残し、私たちは沖縄の友人たちと深い友情で結ばれました。本日、第十回シンポジウムに参加することができたことを大変嬉しく思い、あらためて会議のご成功をお祈り申し上げます。

二〇一二年十月二十九日

(翻訳 帆刈浩之)